

給食たより

令和6年1月30日

江戸川区立西一之江小学校
校長 川浦 孝彦

もうすぐ2月になります。給食では、だんだんと春の食べ物を多くしていきます。子供たちが、食べ物を見て味わって、季節を感じられるような給食を出そうと考えています。

さて、2月3日は節分です。給食では、節分の前にいわしや大豆を食べます。節分とは、どういう日なのでしょうか。

節分とは…



節分は、「季節の分かれ目」という意味で、本来は、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことをいうため年に4回あります。今は立春の前日のみをさすようになっていました。これは、昔は立春が一年の始まりであり、正月と同じ位、大事な日とされていました。その立春の前の節分は年の分かれ目もかねた特別な日とされたからです。

節分の風習

豆まき



悪いことを引き起こす邪気＝「オニ」を追い払うために、魔を滅する力をもつとされた豆（魔滅）をまきます。

ひいらぎいわし 終 鯛



鬼は、いわしののにおいとひいらぎのトゲが苦手とされているので、ひいらぎに焼いたいわしの頭をさしたものを玄関先につけておきます。

SDGs献立

江戸川区はSDGsに積極的に取り組んでいます。SDGsとは2015年に国連サミットで採択された2030年までにすべての国連加盟国が達成を目指す国際目標です。経済（経済的な豊かさ）、社会（ひとり一人の人権の尊重）、環境（地球環境の保護）の3つのバランスをとり、将来まですべての人が平和で豊かに暮らせる世界を実現する取り組みです。

「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成されています。

○給食では

- ・丁寧な調理で、食材の廃棄を少なくする工夫をし、仕方なく出てしまった生ごみは、養鶏場等で活用される飼料にリサイクルしています
- ・江戸川産小松菜を地元の農家さんから直接購入して使用しています。
- ・日本の文化を大切にしたい郷土料理を提供しています。



